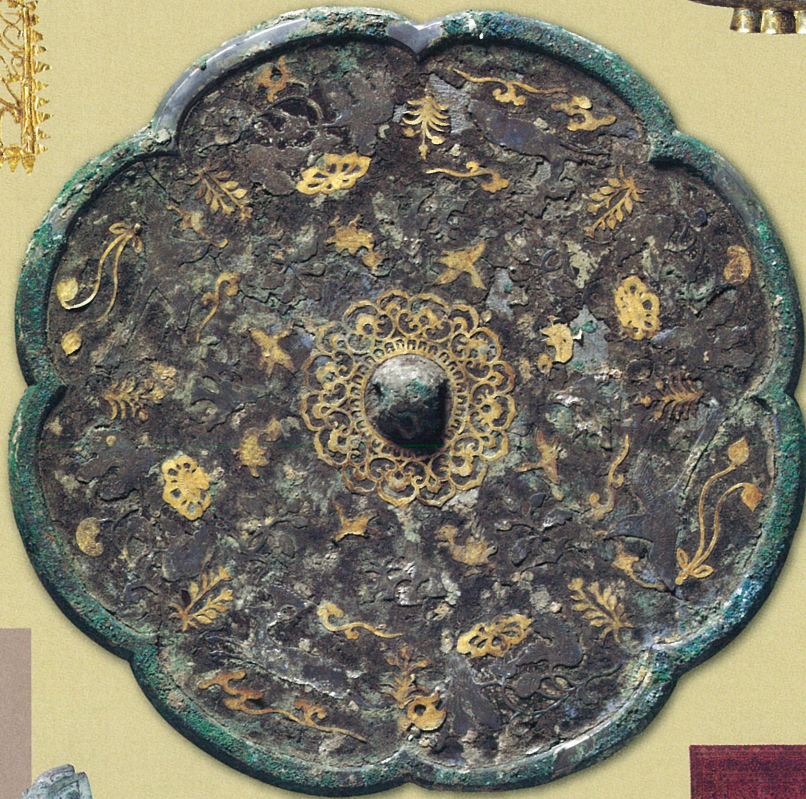


2020年  
白鶴美術館春季展

# 金銀銅

本館

— 東洋の金工美術 —



# 絹 羊毛 綿

新館

— 中東絨毯の糸 —



2020年

3月3日 火 > 6月7日 日

**休館** 月曜日、但し5月4日(祝・月)は開館、5月7日(木)を休館

**入館料** 大人 / 800円 65歳以上・大学・高校生 / 500円  
中・小学生 / 250円(団体20名以上は2割引)

**開館時間** 午前10時～午後4時30分(入館は4時まで)

**イベント**

※要入館料

アート・トーク(スライド解説) … 3月8日・22日、4月5日・19日、5月24日、6月7日 午後2時～3時  
美術に親しむ会 … 4月26日 午後1時～3時  
テキスタイル・レクチャー … 5月3日 午後2時～3時  
特別ワークショップ … 5月9日、10日(ワークショップ 午前10時～午後4時/お話し 午後2時～3時)  
講演会 … 5月17日 午後2時～3時30分  
ワークショップ … 5月中の毎週日曜日 午後1時30分～4時





# 金×銀×銅 - 東洋の金工美術 - 本館

当館は、東洋でつくられた質の高い金工美術を所蔵しています。  
殊に、中国、殷周時代の青銅器や唐時代の銀器は世界有数のコレクションとなっています。  
今回は、こうした銅や銀の優れた工芸作品と、金工品の装飾や絵画作品の世界を彩る  
金の装飾美に注目してみたいと思います。



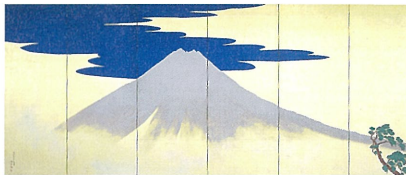
「金銀平脱花枝鳥獸文八花鏡」  
中国 / 唐時代

## 金 - 技術と美 -

金は貴重な金属として権力の象徴ともなり、また光の象徴として多くの宗教美術にも使われています。柔らかく、加工性に富むだけでなく、変質をしない装飾性はまさに永遠の金属として人びとの憧れの的となってきました。銅や銀、その他の金属への鍍金や金箔、金泥などによる彩色など、様々な素材を輝かせる金工芸をご覧ください。



「金製燦文飾」  
中国 / 六朝時代



※展示期間 4月5日～5月2日  
「富士・三保松原図屏風」  
(左隻)円山応挙落款印章 / 江戸時代

## 銀 - 技術と美 -

「白く輝く金属」である銀は、様々な地域で陽に対する陰を象徴するものとされ、冷たさを帯びた深みを以て人々を魅惑してきました。当館所蔵の唐代銀器には、銀の優れた展延性を最大限に生かした打ち出し技法が発揮されています。その精緻さの集積による迫力、そして金との共演による抑揚は、観者を惹きつけ、異世界へと誘います。



重要文化財  
「鍍金花鳥文銀製八曲長杯」  
中国 / 唐時代



重要文化財  
「鍍金龍池鸞鷲双魚文銀洗」  
中国 / 唐時代

## 銅 - 技術と美 -

金属の発見は偶然が奇蹟的に齎したのですが、人類は試行錯誤の末に適切な組成比率の銅合金を生み出すに至り、とりわけ複雑繊細な土の鋳型（原型の模と外型の范）を使用した殷王朝後期の青銅器は金属工芸の最高傑作です。やがて遥か後の唐時代に蜜蠟を原型に使った上質精緻な白銅鏡が誕生します。



重要文化財  
「象頭兕觥」中国 / 殷時代



「白銅海獸葡萄鏡」  
中国 / 唐時代

# 絹・羊毛・綿 - 中東絨毯の糸 - 新館

絨毯の画はパイル糸によって描かれます。  
近代に織られた中東絨毯パイル糸は絹や羊毛が殆どです。  
また、そのパイル糸を支える下地として、使われる糸には羊毛・綿が多くみられますが、時には絹が用いられることもあり、素材によってその目的を捉えることができます。  
今回は、パイル糸だけでなく、経糸、緯糸の素材も挙げながら、各絨毯の特徴をみてみたいと思います。



カーシャーン(マンチェスター)  
ペルシア / 20世紀初期

カーシャーン、ペルシア中央部  
/ 1900年ごろ(シルク)

### Event ※要入館料

**アート・トーク(スライド解説)**  
日時 / 3月8日(日)22日(日) 4月5日(日)19日(日)  
5月24日(日) 6月7日(日) 午後2時～3時  
テーマ / 「展示品を語る」  
講師 / 当館学芸員

**美術に親しむ会**  
日時 / 4月26日(日) 午後1時～3時  
テーマ / 「金・銀・銅の美術、この一点!」  
講師 / 当館学芸員

**テキスタイル・レクチャー**  
日時 / 5月3日(祝・日) 午後2時～3時  
テーマ / 「古代の絹と金糸」  
講師 / 関西学院大学文学部教授 河上 繁樹氏

**特別ワークショップ**  
日時 / 5月9日(土) 10日(日)  
ワークショップ 午前10時～午後4時 / お話し午後2時～3時  
テーマ / 「鍍金良あれこれ」  
講師 / 森本鍍金具製作所 代表取締役 森本 安之助氏

**講演会**  
日時 / 5月17日(日) 午後2時～3時30分  
演題 / 「白鶴美術館館蔵品に探る日本金工の源流」  
講師 / 歴史材料科学者・高岡市美術館館長 村上 隆氏

**ワークショップ**  
日時 / 5月中の毎週日曜日 午後1時30分～4時  
テーマ / 「クルッと反転!紙が要(かなめ)のミニ屏風」  
指導員 / 甲南大学学生

### Access

公益財団法人 白鶴美術館 〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手 6-1-1

